

1. はじめに

南葛西中学校に校長として着任し5年目を迎えました。今年度もみなさまとともに「誠心誠意」の精神を基本に、保護者、地域の方々と協力関係を築きながら学校経営を進めていきたいと考えております。

本校の教育目標、3つは時代に左右されることなく持ち続けなければならない目標です。47年間、その時々の本校に所属する学校関係者のみなさん、教職員の努力の積み重ねにより、成果を着実にあげながら教育活動を進め、その努力の上に現在の落ち着いた明るい雰囲気の中葛西中が築かれております。今年度、新たに本校に着任した教職員とも力を合わせて、さらにより良い学校となるように励んでいきたいと思っております。

昨年度は、全国的にインフルエンザが流行し各校対応に追われましたが、本校では学級閉鎖になるような感染はなくすべての教育活動が滞りなく行われました。子どもたちの「学びを止めない」取組は継続していきたいと考えます。全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協同的な学びの実現をさらに進めてまいります。

また、昨年度は校外で発生した生徒間トラブルの対応に多くの時間を費やしました。今年度は教育相談センター主催「NEXT Hot Project 実践推進校」として「いじめを未然に防ぐための取組」を研究主題として教職員が研究に取り組みます。

最後に、令和9年度のコミュニティ・スクール導入を目指し、学校運営協議会設置に向けて具体的な取組を進めてまいります。本校は地域の方々に支えられ育てていただき歴史を紡いできています。地域との交流をさらに深め、生徒が地域の行事に積極的に参加し、地域の一員としての自覚や、自分が住む地域を大切にす気持ちをもたせていきたいと思っております。また、保護者、地域のみなさまにも学校運営への支援協力をさらにお願ひし、生徒の健全育成に取り組んでいきます。

2. 本校の教育目標

人権尊重の精神を基に、国際社会に貢献できる日本人の育成

- 一 学び続ける人
- 二 思いやりのある人
- 三 心身の健康に努力する人

3. 南葛西中のスローガン

よく学び、心優しく、健やかに 南中プライドをもち成長する生徒

本校の教育目標を覚えやすい平易な言葉にしました。全生徒・全教職員が教育目標の達成を意識し、南中の一員であることの自覚を持ち、南中プライドは常にもち続け行動の目印にしたいと思います。

4. めざす方向

○めざす学校像

- ・生徒の能力を高め、資質の向上をめざす学校
- ・入学させてよかったと保護者、地域から信頼される学校
- ・教職員も資質の向上を常に心がけ、高めあい、組織的に協働できる学校

○めざす生徒像

- ・人権意識、思いやりの心を持ち、自己を大切にしながら他者も尊重できる生徒
- ・自らの目標を定め、向上心を持ち、主体的、意欲的に学ぶ生徒
- ・コミュニケーション能力を高め生活に生かせる生徒
- ・地域の一員としての自覚を持ち、地域を大切にする生徒。
- ・南中プライドを常に胸にとどめ、規範意識のある生徒

○めざす教師像

- ・生徒一人一人の理解を深め、生徒のより良い育成に使命感をもって取り組む教師
- ・組織の一員としての自覚をもちながら学校としての課題の克服に、意欲的に取り組む教師
- ・日常の授業を大切に、主体的に学びに向かう授業を行うための研修を励行する教師
- ・教育公務員としての責任ある言動の履行を厳守し、説明責任が果たせる服務を実践する教師

5. 経営方針

○学習指導の徹底

- ・学習指導要領に定められている各教科各単元の目標をめざし、指導方法を改善していく。
- ・知識や技能を確実に習得させ、それを活用できる力がつく授業を行う。
- ・「学力向上プロジェクト」にもとづき生徒の学力の底上げを図る。
- ・ICTを活用した学びを活性化させ、文房具の一つとしてのタブレット活用さらに推進していく。
- ・求められる教育活動、指導と評価の一体化を図り、評価・評定を確実にこなせるようにしていく。
- ・個に応じた指導を行い、生徒の質問などへの迅速な対応を行う。
- ・「特別な教科 道徳」に確実に取り組み、各教科において道徳性を高める内容を取り扱う。
- ・指導計画は、全生徒が評価基準の達成をめざし、その達成度を適正に測れるようにする。
- ・放課後補習教室、補充学習のさらなる充実を図る。

○授業規律の確立

- ・チャイム始業を図り、授業を行う。
- ・授業への意識を高め集中した取組を行わせる。

○生活指導の徹底

- ・全教育活動において生徒理解に努める。
- ・生徒の問題行動の起因を個々がもつ資質・家庭環境などの面を熟知し指導にあたる。
- ・人権教育の視点を強く持ち、「いじめは許さない」という全生徒の心情を育む。
- ・社会で通用する生徒を育てる。基本的な生活習慣（あいさつ、時間、言葉遣い）を身につけさせる。
- ・不登校生徒への丁寧な対応を心がける。不登校対応巡回教員、外部機関とも連携していく。

○特別支援教育

- ・「支援を要する生徒」の障害特性の理解を進め、可能な範囲での支援を行う。
- ・個別の指導計画に基づいた適切な指導を図り、生徒の良いところの伸長を図る。
- ・生徒に障害について理解させる機会を設け、「インクルーシブ教育」の精神を涵養する。

○学校運営

- ・学校組織の一員としての自覚を高め、「チーム南葛西中」として組織的に対応していく。
- ・本校が初任校となる教員の育成を指導教諭中心に進め、次代の東京都の教育を担う人材を育てる。
- ・職務のつながりを意識しながら、報告・連絡・相談を迅速に行い、進行管理、相互援助を実践する。
- ・常に危機管理を意識し、未然防止、迅速な初期対応が行えるようにする。
- ・教職員がやりがいを持ち安心・安全に働ける環境を整え、教員の「働き方改革」をさらに推進する。

○保護者、地域との関係、連携の強化。

- ・保護者からの信頼を得るため、丁寧で誠実な対応、説明を心掛ける。
- ・可能な限り保護者、地域への公開を推進し、開かれた学校を目指す。
- ・学校応援団の活用を促進し、地域の教育力を生かした教育活動を展開する。
- ・地域行事などへのボランティア参加も積極的に進め、関係をさらに深める。
- ・小、中の連携を深め、それぞれの文化を理解し、教育活動に生かしていく。

6. おわりに

私たちは教育に携わるプロとしての意識を常にもち、日常の学校運営を進め、創造的で建設的であり、そして、何より積極的、組織的に教育活動を展開していきたいと思っております。生徒第一で考え、対応していける学校づくりをとともに実践していきたいと思っております。